

ロシアのウクライナにおける武力侵攻に対する決議

ロシアのウクライナへの武力侵攻においては、子どもを含む民間人が数多く死傷し、ウクライナ国内で非人道的な状況となっていると同時に、世界の国際秩序と民主主義は第二次世界大戦以後、最大の緊張感と危機的な状況となっている。ロシアの武力や核兵器など、力を背景にした武力行使や現状変更については、第二次世界大戦後、ここまで世界が積み上げてきた国際秩序における民主主義を踏みこじるものである。また、エネルギー問題をはじめとした、経済の落ち込みについても深刻化を辿っている。

よって、本市議会は、この暴挙に対して強く抗議するとともに、日本政府においては、世界各国と積極的に協調し、ロシアに対しては毅然とした対応と措置、ウクライナに対しては然るべき支援を行い、日本が果たすべき役割を明確に示し、行動することを要請する。

以上、決議する。

令和4年3月18日

松江市議会